

2016

ぶうげん
びりあ

月号

No.279

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

オリンピック・パラリンピック教育の推進

校長 佐藤 優

夏休みが終わり、元気な子供たちの歓声が学校に戻ってきました。子供たちが始業式に明るい笑顔を見せてくれたことを何より嬉しく思います。長い休みの間、子供たちは様々な経験をし、見聞を広げたことでしょう。その経験が2学期からの生活に役立ち自信となって、1人1人の行動に表れることを期待しています。

今年の夏は4年に1度のオリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催されました。世界のトップアスリートたちの競技に、熱い声援を送った方も多いと思います。そして、日本人選手が各競技で世界を舞台に活躍する場面を目にする機会が多くありました。ひたむきに頑張る姿は、夢に向かって努力することや、決して最後まであきらめないことの大切さを教えてくれました。1学期の終業式でオリンピックの話をしました。子供たちは、きっと、たくさんのオリンピックの名場面を見届けてくれたことでしょう。1人1人の心の中に残ったその感動をいつまでも大切にしてほしいと思います。

さて、4年後の2020年には、東京にオリンピック・パラリンピックがやってきます。日本では、実に56年ぶりの開催となります。そこで、東京都の全公立学校では、オリンピック・パラリンピック教育（オリパラ教育）をスタートしました。本校でも、「自らきたえる児童生徒の育成」の実践・充実を図るためオリパラ教育を推進していきます。「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」という4つのテーマを、様々な教科や領域の中で学習し、理解を深めていきます。また、4つのアクション「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」を通して各テーマに迫り、体力の向上や健康の保持増進を図ります。しかし、オリパラ教育はスポーツへの関心を高めるだけではありません。日本や世界の国の歴史や伝統を学んだり、おもてなしの心やボランティア精神を身に付けたり、国際人として世界の人と仲良くなれるようにコミュニケーション能力を養ったり様々な活動を進めていきます。

子供たちには、自分なりのオリンピック・パラリンピックとのかかわり方を考えながら、オリパラ教育の実践を積み重ねてまいります。夢や希望をもち、その実現に向けて努力することや自他を尊重し合い、共に助け合って生きていこうとする姿勢を育ててほしいと思います。

6月28日火曜日、3年生5名は総合的な学習の時間として、乳房山へ校外学習に出発しました。事前学習では東京都のレンジャー平野さん、向さんに植物、生き物などについて詳しく教えていただいたおかげで、「鳥の巣を見つけたい」「オカモノアラガイの数を数えてみよう」「コウモリはいるかなあ…。」と、それぞれめあてをもって当日に臨むことができました。



30度を越える暑い日でしたが、ガイドの梅野ひろみさんに動植物の名前や特徴だけでなく、人々との関わりや歴史についてもわかりやすく解説していただきながら、無事に登り切ることができました。

校外学習で大切なのは、学んだ知識や体験をさらに深めて、外に向かって表現し、伝えていくことです。当日の写真とメモをもとに、乳房山の地図に記入していくとさらに知りたいことや、みんなに伝えたいことが見つかってきました。オカモノアラガイを見つけた場所と数、高さをまとめたり、タマムシはなぜムニンエノキのところにいるのか調べたり…。わからないことがあると5人で相談して「梅野さんはこう言っていたよ」「一緒に本を探そう」と協力してまとめ、7月の発表会で報告することができました。



今回の校外学習では、講師の方々のほか、環境省の児嶋さん、元本校職員の稲垣先生にもお世話になりました。たくさんのスペシャリストに支えられ、豊かな自然を体感し、それを自らの学びにつなげる、そして自分の言葉で表現・発信してくという、質の高い学びができる母島の素晴らしさを改めて感じています。どうもありがとうございました。

カウンセラー室より スクールカウンセラー 池田 恒平

夏休みは実家に帰りました。部屋のドアを開けると、飼い猫の“ぴーた”と“ぱーた”が出迎えてくれました。ぱーたには威嚇され引っ掻かれた気もしましたが、きっと気のせい。少し散らかった部屋も、毛だらけの布団もいつもと変わらないままです。こうした光景は、帰るたびに気の張った私のことをホッとさせてくれます。

カウンセリングの世界では、安心して過ごすことのできる時間と空間が何より大切であると言われています。はいはいを覚えた赤ちゃんが、お母さんを安全基地として“安心”と“冒険”を繰り返していくように、“安心感”が人間のエネルギーの基礎となると考えられているからです。

小笠原は、自然に恵まれ人との距離も近く、安心に満ち溢れた地域だと思います。こうした地域に校舎を構える母島小中学校にも、“相談室”があります。適度に狭い一室に、机とテーブル、ちょっとした玩具も置いてあり、子供たちが安心して過ごせる条件は十分に用意されています。

スクールカウンセラーの私は、この相談室を“いつもと変わらない安心して過ごせる場所”として活用していきたいと考えています。そして子供たちだけでなく保護者の方にも気軽に足を運んで頂けるとありがたいです。月に数日の勤務になりますが、いつでもお待ちしております。



「今年こそは絶対いけるんでしょ？」と期待を膨らませた目で教員たちに訊ねてくる子供たち。過去2年間、天候の関係で流れてしまった交流会は、4、5、6年生にとっては幻の行事だったようです。去年あんなに小笠原を襲った台風も今年は全く猛威を振るわず、杞憂に終わったことは大変ほっとさせられました。

各学年の事前学習や班決め、係り決めなども順調に進み、父島の友達をたくさん作るぞ！と意気込んだのは、はは丸に乗り込んだ時…。父島について実際に小笠原小学校に行ってみると、子供たちの顔はみるみる険しい表情に。控室で待機している時には、笑顔が消えた13人はトイレにも出て行けない状況になっていました。やはり普段限られた人数で過ごす集団生活に慣れきってしまったせいも、どう振る舞ったらよいのか分からないようでした。しかしそういう状況こそ、大人としては味わわせたいもの。戸惑ってはいても少しずつクラスの子達に馴染んでいくことができました。交流日はたった1日だけでしたが、放課後にはそれぞれ新しい友達ができ、大勢で仲良く遊ぶことができました。



夜の振り返りでその日の感想を子供たちから聞いてみると、「今年は4人しか新しい友達ができなかったから、来年はクラスの残りの子全員を覚えたい」「他の団体に参加した時には今回みたいに積極的に声をかけたい」等前向きな発言が聞かれ、普段の成長を上回るスピードで新たな成長を遂げることができた子供たちでした。

中学校父母学習交流会、父島での時間

中学校 天野 友景

「父母学習交流会が楽しみな人？」事前にこう聞いた時の中学生の反応は、一様に「楽しみ！」という訳ではありません。船酔いが心配であったり、慣れない大人数の中での授業が不安であったりするなど、緊張する理由は様々あります。初日の対面式は図書室で行われました。横一列に並ぶ母島中学校の生徒8人に対し、向かい合う小笠原中学校の生徒は50人以上、圧倒される雰囲気です。対面式後、それぞれの学年の中に混ざっていく生徒たちの背中に、エールを送りたい気持ちになりました。

2日目の水泳記録会での生徒たちの頑張りは、目を見張るものがありました。仲間を応援する姿もすてきなものでした。その日の夜は小笠原高校に通う先輩たちとの面会のひととき。差し入れのお菓子をいただきながら、リラックスした表情で近況を語り合う時間は貴重なものであると感じました。

最終日、朝早い出港にも関わらず小笠原中学校の生徒や先生、小笠原高校に通う先輩たちが見送りにきてくれました。新しいははしま丸に揺られ母島へ向かう2時間、父島との距離を感じながら、もっと交流する機会があればよいのだろうなと思いました。



9 月 行 事 予 定

日	曜	
1	木	始業式 保健指導 発育測定 村防災訓練
2	金	視力検査 (小1～3) 漢字チャレンジ 5h (小2～小6)
3	土	
4	日	
5	月	朝礼 (安全指導) 視力検査 (小4～中3) 委員会 (小)
6	火	ベーシックタイム 保護者会 (小1・2)
7	水	朝読書 (小) 委員会 (中) SC在島
8	木	児童集会 (小)
9	金	ベーシックタイム 保護者会(小3・4) 部活動
10	土	
11	日	
12	月	小中朝礼 (小5中1) 保護者会 (小5・6) 石門校外学習 (中3) 朝のあいさつ運動始
13	火	ベーシックタイム プール納め(小)5,6h 吹奏楽(中)
14	水	朝読書 (小)
15	木	児童集会 (小)
16	金	石門校外学習予備日 (中3) 部活動 朝のあいさつ運動終
17	土	敬老の日の集い
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	ベーシックタイム 吹奏楽(中) 漢字チャレンジ (中)
21	水	朝読書 (小) 秋の交通安全運動始
22	木	秋分の日
23	金	西浦校外学習 (小3)
24	土	P T A 体育部プール開放
25	日	P T A 体育部プール開放
26	月	朝礼 委員会 (小)
27	火	ベーシックタイム 交通安全教室 吹奏楽 (中)
28	水	朝読書 (小) 研究授業 (小2) 6h
29	木	
30	金	西浦校外学習予備日 (小3) 秋の交通安全終

9月の生活目標

「規則正しい学校生活を送ろう」

- ・2学期に向けて自分の生活を見直そう。
- ・あいさつをして、気持ちのよい学校生活を過ごそう。
- ・夏休みに取り組んだ「学習」の成果を発揮しよう。

9月の避難訓練 1日(木)

村の防災訓練に参加し、地震発生による津波の来襲を想定した避難訓練を行います。

津波の際の避難経路や集合場所を確認させ、診療所までの最短経路を考え、校庭を出てC線を走って避難させます。

9月の安全指導 5日(月)

「地震・津波などの災害時における安全確保」が重点指導目標です。

地震・津波などの災害時における危険性を考え、安全確保のための心構えや自分でできること、協力してできることを話し合い、いざというときに実行できるよう指導します。

〔保護者会のお知らせ〕

2学期最初の保護者会を下記のように行います。今回は小学校のみの開催です。ご多用の時期ではありますが、ご参加ください。

実施日

9月 6日 (火)
16:00～ 小学校1・2年生

9月 9日 (金)
16:00～ 小学校3・4年生

9月 12日 (月)
16:00～ 小学校5・6年生



～漢字検定担当者からのお知らせ～

10月29日(土)(10:00開始予定)漢字能力検定を実施いたします。しかし、参加者が10人以上いなければ本校で受検することができません。そのため、保護者の方や地域の皆様の受検も広く募集しております。受検を希望される方は、担当(田中)までご連絡ください。(申込締切日:9月26日)ご協力を、よろしくお願いいたします。